

# 自己決定・自己選択する力を育む生活科指導の工夫 ～地域資源を活用した、体験的活動を通して～

## ①課題設定

### 手立て①育てる野菜の自己決定

「何を育て、収穫後にどうしたいか。」を児童自ら決定。自分たちが育てた野菜という、強い愛着と責任感が芽生えました。



ぬまた未来創造学

## ②情報収集

### 手立て②地域資源の活用

「薄根地域ふるさと創生推進協議会」や地域の「やさい名人」、「沼田市学校給食センター」などにヒアリングを重ね、様々な解決の選択肢を広げました。



## ③整理・分析

### 手立て③学びを整理・分析する「やさい新聞」

家庭での調理実践をもとに、各自が調べたことを新聞にまとめ、野菜を「チーズ焼き」や「野菜チップス」にするなど、様々な野菜の調理方法を考えることで、苦手な野菜を楽しく克服することができました。

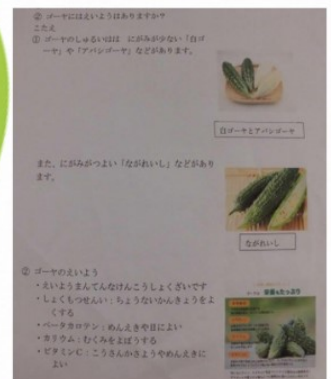


#### 野菜アンケートを分析

- ✓ 好きな野菜・苦手な野菜を調査
- ✓ 好き：きゅうり・ピーマンが多い
- ✗ 苦手：トマト・ナス・ピーマンが多い
- ✓ 苦手な野菜でもおいしく食べられる工夫を整理  
小さく切る・形付けを工夫する・好きな野菜と一緒に調理する など
- 💡「苦手な野菜を使ったメニューを作ろう」と決定  
みんなが食べやすい工夫を考えてメニューづくりにつなげた！

#### うすねやさい新聞

- 🌸 調べたことを整理  
野菜の育て方・種類・栄養・調理の工夫などを調べてまとめた！
- 🌸 必要な情報を自分で選択  
たくさんの情報の中から「伝えたい内容」を自分で決めた！
- 🌸 レイアウトも自分で工夫  
見やすくなるように  
絵や写真を使って  
新聞に表現した！



## ④まとめ・表現

### 手立て④沼田市学校給食センターへ「給食メニューの提案」

本校の多くの児童が苦手な🍅トマト🍅を使い、「形を崩す」「チーズを混ぜる」などの調理工夫を提案しました。



### 自己決定能力の確かな育成

- アンケート結果を話し合い、メニューを自分たちで決定できた！
- 調べた内容を整理し、伝えたい情報を選択して新聞に表現できた！

自己決定能力の確かな育成  
「見通しとゴール」を保障することで、自ら選択して挑戦する姿が醸成。

地域への愛着の醸成  
地域資源の活用を経て、地域や地域に住む方への愛着が醸成。

### 自己決定に関わる実践

自分の意見よりも、周囲の意見や、教師が提示したものを選択してしまったりしていたが、自分で決めたり、自分で選んだりしながら学習に取り組むことができるようになった。

地域への愛着・誇りをもつことができ、身の回りの生活圏が、**「自慢できる豊かな郷土」**へと変化しました。